



エメールだより

1月

エメール保育園
園長 江口 浩三郎

『『敏感期』 バスに乗り遅れないように 』

明けまして おめでとうございます。

ご家族おそろいで、新しい気持ちで新年を迎えられたことでしょう。

昨年は、テロ事件や自然災害で世界の空気が大きく乱れましたが、今年もその乱れは続きそうです。何だか、人間の生き方そのものが試されているような感じですね。この試練をどうやって乗り越えていくのかどうか、子どもたちへの良いお手本を見せることになるでしょう。

ところでモンテッソーリは、ド・フリースという生物学者の研究からヒントを得て、人間の子どもたちにも、「敏感期」という特質があることを教えてくれました。すなわち、「子どもの頃のある一定期間、自分の環境のなかにある特定のことがらに対し、本能的に引きつけられそれにかかわる行動をおこす」ということです。モンテッソーリはこのことを、「自然が子どもにも与えた宿題なので、良い成長をしていくためには必ず仕上げなければならない」と強調しています。

主な敏感期は、「運動」(0歳～4歳)、「感覚」(0歳～3歳)、「秩序」(6ヶ月～2歳半)、「言語」(6ヶ月～5歳)、「算数」(4歳～6歳)、「文化」(6歳～8歳)、等です。私たちも永い間多くの子どもと過ごしてきて、どの子にも次から次へと敏感期があらわれることを知らされてきました。

宿題を果たした子どもたちは、精神的に大きな成長ぶりを見せてくれます。特に知性の発達が目ざましく、論理的思考能力、自己教育力、持続して集中した作業能力がしっかりと身についてきます。だから私たちはどの子も無理なく自然に宿題が出来るように、環境の準備を怠ってはいけません。

仮に、もし環境の準備がなかったために、この宿題ができなかった場合はどうなるのでしょうか。当然のことながら自分をつくり上げるための精神的発達が遅れてきますが、それよりもこわいのは、子どもが自分の存在を否定されていると感じることです。言い換えれば、社会的に無視された状態に導かれることです。これをモンテッソーリは、「バスに乗り遅れる」と言っています。一度乗り遅れたら、それまで楽に吸収していたいろんな能力を、ものすごい努力で身につけなければなりません。

やはり人生もスタートが大事です。子どもたちが順調にスタートし、余裕を持って幸せな道を歩けるように、できる限りの手助けをしてあげたいと考えています。

(園長より)

冬の保育参観の

今年度最後の保育参観を下記のとおり行います。子どもたちのおしごとに取り組む姿をご覧ください。参観後は各クラスにて「クラスコンサート」その後「子育てシンポジウム」を行います。シンポジウムの後は園庭にテントをはって子どもたちと一緒に給食を試食していただきます。ぜひご参加いただき、子どもたちの成長した姿をご覧ください。

日 時：1月23日(土) 9:00～13:30

内 容：9:00～10:00 参観 (各クラスにて)

10:10～10:50 クラスコンサート(各クラスにて)

11:00～12:10 子育てシンポジウム(ホールにて)

12:20～13:10 給食試食会 (園庭にて)

*詳しいご案内と申込書は後日配布します。



1月の行事予定

1	金	元旦
2	土	休園
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	
13	水	いのちのたび博物館 見学(5歳児)
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	保育参観 クリスマスコンサート
24	日	
25	月	誕生会
26	火	卒園記念写真 撮影(5歳児)
27	水	のばらコンサート 避難消火訓練
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

体育教室 5歳児

15・22・29日 金曜日

絵画教室5歳児 14日(木)